

目次, chapter7 (誤) 共通語**なった** (正) 共通語**になった**

p.27, 6行 (誤) **読んで**います (正) **呼んで**います

p.44, 下7行 (誤)  $r \geq v$ なら (正)  $r > v$ なら

同, 下6行 (誤) 点  $x$  の関数  $f$  の (正) 点  $x$  **で**の関数  $f$  の

p.61, 下10行 (誤) **函**数論の講義 (正) **関**数論の講義

p.74, 7行 (誤)  $<b_n <$  (正)  $>b_n >$

p.108, 12行 「また, 一般の環では」以下パラグラフの終りまでの1文を, 次のように改める: より一般の, 「ネーター環」と呼ばれるタイプの環では, 任意のイデアルが有限個の準素イデアルの共通部分で書けるという「準素イデアル分解定理」が成立します. (実数係数の多項式の環やその剰余環などはすべてネーター環です.)

p.124, 命題 (誤)  $p_n \in U(p; \varepsilon)$  (正)  $p_n \in U(q; \varepsilon)$

p.125, 定義 (誤)  $A$  に属する点  $q$  (正)  $A$  に属する点  $p$

p.148, 下4行 (誤) つながっている**もの**切り離してしまう (正) つながっている**も**  
**の**を切り離してしまう

p.153, 下9行ディスプレイ数式 (誤)  $\sigma: \mathbb{R}^2 \rightarrow S^2 \setminus \{(0, 0, 1)\}$  (正)  $f: \mathbb{R}^2 \rightarrow S^2 \setminus \{(0, 0, 1)\}$

p.166, 下2行 (誤)  $0, p, q$  の**どれとも異なる**第4の点 (正) **直線  $\overline{pq}$  上にない**第4の点

p.171, 下10行 (誤) ボレルの没年 1856 (正) 1956